

## 安全のために



**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本書およびpoiq™との日々のはじめかた、ヘルプガイド(Web取扱説明書)をよくお読みのおえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 本機のマニュアルについて

**poiq™との日々のはじめかた**  
はじめにお読みください。  
必要なアプリや初期設定など最初に必要な準備について記載しています。

**安全のために(本書)**  
安全に使用するための注意事項や主な仕様を記載しています。

**ヘルプガイド(Web取扱説明書)**  
poiqの機能について詳しく説明しています。  
スマートフォンやパソコンでご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/poiq/cer1000/ja/>

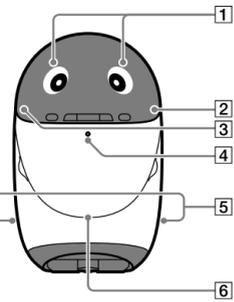


## 各部の名称

ここでは、本書の「安全のために」および「使用上のご注意」に記載されている部位について説明しています。このほかの各部の名称や機能について詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

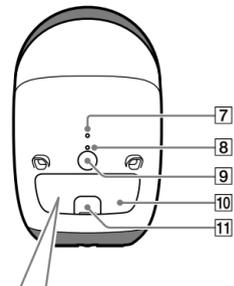
### ボタン・マイク・LED

正面



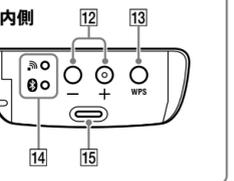
- ① 目
- ② お知らせLED
- ③ コミュニケーションLED
- ④ 前面マイク
- ⑤ 側面マイク
- ⑥ スピーカー

背面



- ⑦ 背面マイク
- ⑧ 電源/充電LED
- ⑨ 電源ボタン
- ⑩ 蓋
- ⑪ USB蓋

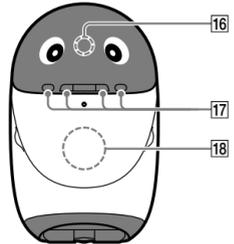
蓋の内側



- ⑫ 音量ボタン
- ⑬ WPSボタン
- ⑭ (Wi-Fi) LED/  
(Bluetooth) LED
- ⑮ USB Type-C®端子

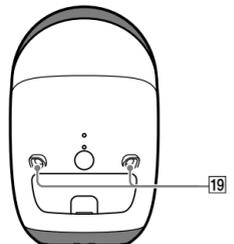
### カメラ・センサー・ホイール

正面



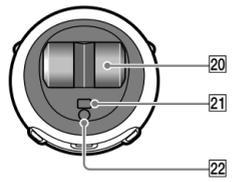
- ⑯ カメラ
- ⑰ 前面ToFセンサー
- ⑱ レーダーセンサー

背面



- ⑲ 背面ToFセンサー

底面



- ⑳ ホイール
- ㉑ 近接センサー
- ㉒ 底紙

## 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



### 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

### 故障したら使わない

poiqオーナーサポートにご相談ください。

### 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、外装のキャビネットを破損したら



- ① 背面にある電源ボタンを3秒間押したままにして、電源を切る。  
電源ボタンを3秒間押したままにしても電源を切れないときは、電源ボタンを10秒以上押しして強制終了してください。強制終了すると、データや設定した内容が消えてしまう場合があります。
- ② poiqオーナーサポートにご相談ください。



下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

### 分解や改造をしない

故障や火災・感電の原因となります。内部の点検や修理についてはpoiqオーナーサポートにご相談ください。



分解禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源ボタンを3秒間押したままにして、確実に電源を切ってください。その後、poiqオーナーサポートにご相談ください。



禁止

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となります。特に風呂場などでは絶対に使わないでください。



禁止

### 布や布団などで覆わない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくぐるまない。
- 服などを着せない。



禁止

### USBケーブルを傷つけない

USBケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- USBケーブルをpoiqと机、壁や床などの間に挟み込んだりしない。
- USBケーブルを加工したり、傷つけたりしない。
- USBケーブルを乳幼児の口や手に触れさせたりしない。
- USBケーブルを熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- USBケーブルに重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- USBケーブルを細いものに巻き付けない。
- USBケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



禁止

### 落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにUSBケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。



禁止

### ぬれた手でUSBケーブルにさわらない

ぬれた手でUSBケーブルの抜き差しをすると、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

### 火のそばで使用しない

火のそば、炎天下、窓を閉め切った自動車内などの高温になる場所では使用しないでください。またそのような環境下において、充電や放置もしないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

### 布や敷物、布団などの上で使用しない

poiqのホイールに巻き込まれる可能性がある繊維の上で使用しないでください。火災や故障の原因となります。



禁止

### 液体の上で使用しない

水や油など、液体の上で使用しないでください。火災や故障の原因となります。



禁止

### 付属または推奨のUSBケーブル以外は使わない

発熱により火災・感電の原因となります。



禁止

### 水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

### 長時間使用しないときはUSBケーブルを抜く

旅行などで長時間使用しないときは、USBケーブルを本体から抜いてください。火災の原因になることがあります。



指示

### 直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

### 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている人物の周囲15cm未満にpoiqが近づくおそれがある場合は、poiqを使用しない

ネットワーク機能の電波が、医用電気機器の動作に悪影響を及ぼすおそれがあります。電源ボタンを3秒間押ししたままにして電源を切ってください。



禁止

### 特定の状況下では使用しない

poiqはネットワーク機能を内蔵しています。以下の点に注意していただき、障害などが発生した場合には、poiqを使用しないようにしてください。また、緊急の場合には、ただちに電源ボタンを3秒間押ししたままにして、電源を切ってください。

- 航空機の機内ではpoiqを使用しない。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- poiqを自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- poiqを使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止



下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

### 目やToFセンサーを長時間継続して見ない

光の刺激によって、まれに、目の痛み、視覚異常、偏頭痛、けいれんや意識障害(失神など)などの症状(光感受性発作)が起きることがあります。こうした症状のある方は、事前に必ず医師に相談してください。



禁止



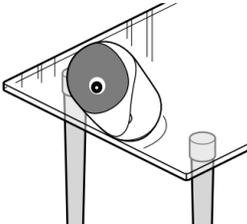
下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 天板が透明または鏡面仕上げのテーブルや棚の上で使用しない

落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。



禁止



### 振動する場所、段差や傾斜がある場所、固定されていないもの(例:紙)の上など、不安定な場所では使用しない

落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。紙など固定されていないものが、ホイールではじき飛ばされるおそれがあり、思わぬ事故の原因となることがあります。



禁止

### 破損した場合は破損部分にさわらない

破損部分をさわると、けがをする可能性があります。poiqが破損した場合はpoiqオーナーサポートにご相談ください。



禁止

### poiqのまわりには、壊れやすいもの、危険なものを置かない

自律行動するので、お客様の所有物を破損させたり、思わぬ事故の原因となることがあります。



禁止



### 可動部には皮膚を触れさせない

挟まれてけがの原因となることがあります。



禁止

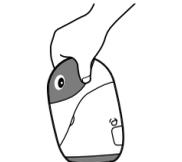


### 電源が入っている状態でホイールを動かそうとしない

無理に可動部を動かすと、破損してけがの原因になることがあります。



禁止



### 長時間、皮膚に触れたままにしない

長時間皮膚に触れたままになっていると、低温やけどの原因となります。また、衣類の上からでも長時間触れたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。



禁止

### 強い衝撃を与えない

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。



禁止

### 乳幼児の手の届かない場所で使用する

手を挟まれたり、外れた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因となります。小さなお子様を使用する場合には、本機の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。USB Type-C®端子をさわったり、なめたりしないようにご注意ください。



指示

### 落下に注意する

poiqと遊ぶときや持ち運ぶときは、落下にご注意ください。落下するとけがや故障、または家具や床を破損する原因となります。



指示

### 蓋を引っ張らない

蓋を強く引っ張ったり、蓋のみで本体を支えないでください。本体の破損の原因となります。また、落下により、家具や床を破損する原因になります。



指示

## バッテリーについての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

### 危険 バッテリーが液漏れしたとき

バッテリーの液が漏れたときは素手で液をさわらない  
液がpoiq内部に残ることがあるため、poiqオーナーサポートにご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

### 警告

- 火の中に入れない、分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

## 使用上のご注意

### 使用場所について

<div> <p>落下する危険性が高い場所、まわりに障害物がある場所、乳幼児の手の届く場所ではお使いにならないでください。落下や接触などによって、お客様の所有物が破損したり、けがや故障の原因になることがあります。poiqの落下、接触などによってお客様に生じた不利益やその他の損害に対して当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。</p> </div>
---

- 天板が黒、透明または鏡面仕上げのテーブルや棚の上で使用しないでください。センサーが正常に動作せず、poiqが移動できなかったり、落ちたり倒れたりする場合があります。
- 昼間の窓際など強い直射日光の下では、poiqに搭載の各センサーが誤動作する可能性があります。
- 屋外では使用しないでください。内部に水や異物が入り、故障の原因となります。
- 滑りやすい床、敷物または布団の上では使用しないでください。その他、ほこりや髪の毛などの異物を巻き込む可能性のある場所でも使用しないでください。
- 動作温度は5℃～35℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での使用は故障の原因となります。
- ほこりやたばこの煙が多い場所に置かないでください。
- 異常に高温、低温、または多湿になる場所に置かないでください。炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

#### 本機の取り扱いについて

- 無理な力を加えたり、可動部にものを挟むなど動きを妨げるような行為をしないでください。故障の原因となります。
- 本機に適合しないシールを貼ったり、服などの装飾物を取り付けしないでください。重量バランスが崩れて、異常走行やセンサーの誤動作につながる可能性があります。
- 可動部に油をささないでください。
- 落としたり、重いものを載せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- ネットワーク機能は日本国内専用です。海外では国／地域によって電波使用制限があるため、ネットワーク機能を使用すると、罰せられることがあります。
- poiqはネットワーク機能を搭載しているため、poiqを手を持った状態、または抱えた状態でも長時間使用しないでください。
- poiqに搭載の各センサーを傷つけたり、ごみや指紋などの汚れが付着しないように注意してください。検出機能が低下し、誤動作につながる可能性があります。

#### 結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、製品の表面や内部に水滴がつくことです。そのままご使用になると、故障の原因となります。結露が起きたときは、電源を入れずに放置してください。

#### 発熱についてのご注意

- poiqは使用中に熱くなることがあります。内部電気回路の動作や充電時の電流による発熱で、故障ではありません。poiqの発熱量は動作によって異なります。
- poiqは一定の温度以上になると、性能を抑制したり、動作を停止したりすることがあります。
- poiqが普段よりも異常に熱くなったときは、電源ボタンを3秒間押したままにして電源を切ってください。次に、poiqオーナーサポートにご相談ください。

#### 充電について

- poiqはUSB充電専用です。poiqの充電を行うにはUSB ACアダプターが必要です。
- 出力電流1.5 A以上のUSB ACアダプターと付属のUSB Type-C®ケーブル (A-C) を使用しての充電をおすすめします。また、poiqはUSB PD (Power Delivery)に対応しているため、市販の対応機器をお使いになると急速充電ができます。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
- USB Type-C®ケーブル (A-C) はUSB ACアダプターに接続したあとに、poiqに接続してください。USB Type-C®ケーブル (A-C)のみをpoiqに接続すると走行機能が停止せず、重量バランスが崩れて異常走行につながる場合があります。
- 充電中はpoiqの走行機能が停止します。
- USB ACアダプターと接続して充電しながら使用する場合でも、使用する条件によってはバッテリーが消費される場合があります。
- 充電中は、内部の温度上昇により連続稼働時間が短くなることがあります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の環境で充電してください。この範囲外では十分に充電ができないことがあります。
- poiqを充電中または給電中に、poiqの温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 長期間使用しないときは、バッテリーの劣化を防ぐため、半年に1度充電してください。
- 長期間使用しなかったときは、充電の時間が長くなる場合があります。

#### 写真撮影機能について

- poiqの写真撮影機能は一般的なモラルを守って使用してください。
- 他者を撮影、公表することは、プライバシーや肖像権などの侵害になるおそれがあります。事前に同意を得て撮影してください。

#### コミュニケーション機能について

- poiqはお客様やその他の使用者との会話内容をもとに対話を行います。poiqが話す内容について、人の気分を書さないように配慮していますが、人によっては気分を害する場合があります。poiqのコミュニケーション機能はpoiqとお客様との完璧な対話や意思疎通を保証するものではありません。
- poiqとの会話が周囲の迷惑にならないよう、音量を調整ください。

#### お手入れについて

- poiqについてごみやほこりなどは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- ホイールについて着物は乾いた柔らかい布で拭き取り、ごみやほこりなどは粘着性の弱いテープを使って取り除いてください。
- 各センサーのカバーにごみや指紋などの汚れが付いたときは、直接手を触れず市販のブローアで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

#### 本機の使用によって取得されるお客様等の情報について

- 本機の使用を通じてお客様や周囲の音声データ・画像データおよびその認識結果がクラウド上に保存されます。事前に同意を得てご使用ください。
- 本機の使用を通じて取得されるお客様やその他の使用者の情報の取扱いについての詳細は、以下のプライバシーポリシーをご確認ください。https://poiq.sony.jp/terms/

## ソフトウェアについて

#### 本機のシステムソフトウェアに関するお知らせ

poiqはシステムソフトウェアをアップデートすることで、機能の追加、操作性の改善、セキュリティの強化ができます。専用アプリMy poiqを使って、常に最新のバージョンにアップデートしてください。

#### 第三者ソフトウェアに関するお知らせ

エンタテインメントロボット poiqは、ソースコードの形式で又は無償で公に入手可能な部分を含むソフトウェア又はその派生物であって、ソニーグループ株式会社以外のソフトウェアの権利者が定める使用許諾条件に伴うもの(以下「第三者ソフトウェア」とします)が含まれております。第三者ソフトウェアのご使用については、各権利者の定める使用許諾条件に従っていただくものとします。これらの使用許諾条件は、第三者ソフトウェア毎に以下のURLに記載されております。このURLにアクセスの上、内容をご一読くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

https://oss.sony.net/License/CER-1000/

第三者ソフトウェアには、上記URLに記載の、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様はGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再頒布の権利があることをお知らせします。これらのソフトウェアのソースコードは、ウェブ上で提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名「CER-1000」をお選びください。

https://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

## 無線LAN (Wi-Fi®) について

#### 無線LAN (Wi-Fi®) についてのお願い

- 無線LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- poiqをWi-Fi接続する場合、Wi-Fi接続のために必要な費用については、お客様のご負担となることをご了承ください。

#### 無線LANについて

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時に影響を受けることがあります)。
- テレビ・ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数のアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できないことがあります。

#### 2.4 GHz機器使用上の注意事項

無線LAN (Wi-Fi®) が使用する2.4 GHz帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(「以下「他の無線局」と称します)が運用されています。

- poiqを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、poiqと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにpoiqを使用する場所を変えるか、またはpoiqの電源ボタンを3秒間押したままにして電源を切ってください。
- 不明な点やその他お困りのことが起きたときは、 poiqオーナーサポートまでお問い合わせください。

### 2.4DS4/OF4

poiqは2.4 GHz帯を使用します。DS4は変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は40 m以下です。OF4は変調方式としてOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

#### 5 GHz機器使用上の注意事項

poiqは、5 GHzの周波数帯においては、5.2 GHz帯 (W52)、5.3 GHz帯 (W53)、5.6 GHz帯 (W56) の3種類の帯域を利用できます。

- 5.2 GHz帯 (W52 / 36、40、44、48 ch)
- 5.3 GHz帯 (W53 / 52、56、60、64 ch)
- 5.6 GHz帯 (W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140 ch)

poiqに内蔵の無線LANを5.2 GHz / 5.3 GHz帯 (W52 / W53) でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません(ただし、総務省総合通信局に事前登録された5.2 GHz帯高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除く)。

## Bluetooth®機能について

#### Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

**Bluetooth®**機器が使用する2.4 GHz帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(「以下「他の無線局」と称します)が運用されています。

そのため、**Bluetooth®**機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

- poiqを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、poiqと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにpoiqを使用する場所を変えるか、またはpoiqの電源ボタンを3秒間押したままにして電源を切ってください。
- 不明な点やその他お困りのことが起きたときは、 poiqオーナーサポートまでお問い合わせください。

### 2.4FH4/XX8

poiqは2.4 GHz帯を使用します。FH4は変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は40 m以下です。XX8は変調方式としてその他方式を採用し、与干渉距離は80 m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

## 主な仕様

<div> <p><b>可動部(自由度)</b>  顔：3軸  ホイール：2軸</p> <p><b>キースイッチ類</b>  電源ボタン  音量ボタン(+、-)  WPSボタン (Wi-Fi Protected Setup™)</p> <p><b>LED</b>  目(白×8、RGB×6)  電源/充電LED  Wi-Fi LED  Bluetooth LED  お知らせLED  コミュニケーションLED</p> <p><b>カメラ</b>  カメラ×1</p> <p><b>端子類</b>  USB Type-C®端子×1</p> <p><b>サウンド</b>  スピーカー、マイク×4</p> </div>	<div> <p><b>センサー類</b>  6軸検出システム×2  (3軸ジャイロ・3軸加速度)  ToFセンサー×6  ミリ波レーダーセンサー  近接センサー</p> <p><b>消費電力</b>  約4 W</p> <p><b>連続稼働時間</b>  約180分</p> <p><b>バッテリー容量</b>  16.4 Wh</p> <p><b>外形寸法</b>  直径約72 mm×高さ約118 mm(突起部を除く)</p> <p><b>重量</b>  約410 g</p> <p><b>動作環境温度</b>  5℃～35℃</p> <p><b>通信方式</b>  Wi-Fi®：IEEE 802.11a/b/g/n  <b>Bluetooth®</b>：4.2</p> </div>
---	--

<div> <p><b>付属品</b></p> <p>USB Type-C®ケーブル(A-C)  poiq™との日々のはじめかた  安全のために(本書)  プロダクトキー(アクセサリボックス上に貼付)</p> </div>
---

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

<div> <p><b>商標／著作権について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>Wi-Fi、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。</li> <li><b>Bluetooth®</b>ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。</li> <li>QRコード/QR Codeは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。</li> <li>USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの商標です。</li></ul> </div>
---

その他、本書で記載するシステム名、製品名などは、一般に各社の登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、一部を除き™、®マークは表記していません。本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

<div> <p><b>Wi-Fi</b><sup>®</sup>  <b>CERTIFIED</b></p> </div>
--

<div> <p><b>Bluetooth</b><sup>®</sup></p> </div>
--

<div> <p><b>Li-ion</b><sup>®</sup></p> </div>
---

<div> <p><b>充電式電池</b></p> </div>
----------------------------------

<div> <p><b>充電式電池</b></p> </div>
----------------------------------

<div> <p><b>充電式電池</b></p> </div>
----------------------------------

<div> <p><b>充電式電池</b></p> </div>
----------------------------------

<div> <p><b>充電式電池</b></p> </div>
----------------------------------

<div> <p><b>充電式電池</b></p> </div>
----------------------------------

<div> <p><b>充電式電池</b></p> </div>
----------------------------------

## アフターサービス

#### 調子が悪いときは

poiqオーナーサポートページで該当する症状を調べてください。https://poiq.sony.jp/support/

#### それでも具合の悪いときは

poiqオーナーサポートまでお問い合わせください。お問い合わせいただくときは、My Sony IDをお伝えください。

<div> <p>よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはpoiqオーナーサポートページをご活用ください。</p> <p><b>https://poiq.sony.jp/support/</b></p> </div>
--

<div> <p><b>poiq</b>オーナーサポート</p> <p>フリーダイヤル…………… <b>0120-66-0520</b>  携帯電話・一部のIP電話………… <b>050-3754-9801</b></p> </div>
--

ソニーグループ株式会社  
〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

